

平成21年度離島対策事業協力評価報告書

(平成22年度事業への継続: (有) 無)

平成22年7月26日
第三者委員会

No.19	都道府県名: 沖縄県	市町村名: 宮古島市			
協力の対象となる島名: 宮古島	世帯数: 20,527世帯 ※	人口: 53,493人 ※			
事業実施期間: 平成21年4月1日～平成22年1月31日	海上輸送を行う者: 宮古島市の委託を受けた第三者				
1回当たりの輸送平均台数: 72台	年間の輸送回数: 58回				
海上輸送の方法: 特定家庭用機器廃棄物を積載したコンテナを船舶に積み込み輸送する。					
<p>自主事業 協会集計方式</p> <pre> graph LR A[消費者] --> B(小売業者 (取扱店)) B --> C[中間集積所] C --> D[搬出港 (平良港)] D -- 海上輸送 --> E[受入港 (那覇港)] E --> F[Aグループ 指定引取場所名 (拓南商事)] E --> G[Bグループ 指定引取場所名 (拓琉金属及び拓 琉リサイクル研究センター)] </pre> <p>(総輸送距離: 358 km、総輸送時間: 10.2hr)</p> <p>輸送距離: 中間集積所→搬出港(3 km) 搬出港→受入港(330 km) 受入港→指定引取場所(25 km) 輸送時間: 中間集積所→搬出港(0.2hr) 搬出港→受入港(9hr) 受入港→指定引取場所(1hr)</p>					
	エアコン	ブラウン管式テレビ/ 液晶式及びプラズマ 式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計
事業実施期間中の 輸送量(台)	460	1,806/0	807	1,101	4,174
交付された助成金額(円)	220,800	866,880	710,160	528,480	2,326,320

※: 世帯数及び人口は、平成17年国勢調査

I. 輸送の効率化(少頻度多量輸送)の評価

輸送回数は年58回で、1回当たり72台を輸送しており、少頻度多量輸送を満足していると認められる。

II. その他 市町村の責務の遂行状況の評価(推奨すべき点を含む)

1) 排出者の負担軽減に関する評価

- ① 海上輸送費用は宮古島市が全額負担しており、排出者への負担はない。
- ② 助成金交付台数実績は、宮古島の回収推定台数(4月～1月で5,136台)の81%である。

2) その他

- ① 本委員会は、宮古島市の義務外品体制に不備があると認め、平成21年10月に協会をして同市に対し改善要請を行わしめた。同市より協会に対し平成21年11月に義務外品体制の整備等についての報告書の提出があった。事後、同問題は改善されていると認められる。
- ② 宮古島市の責務(I. 及びII. 1)に掲げるものを除く。)は適切に遂行されているものと認められる。